



顔の見える関係を丁寧に作りながら

—非常な広さと荒涼の中で—

「いっしょに歩こう！プロジェクト」

本部長（東北教区主教）加藤 博道

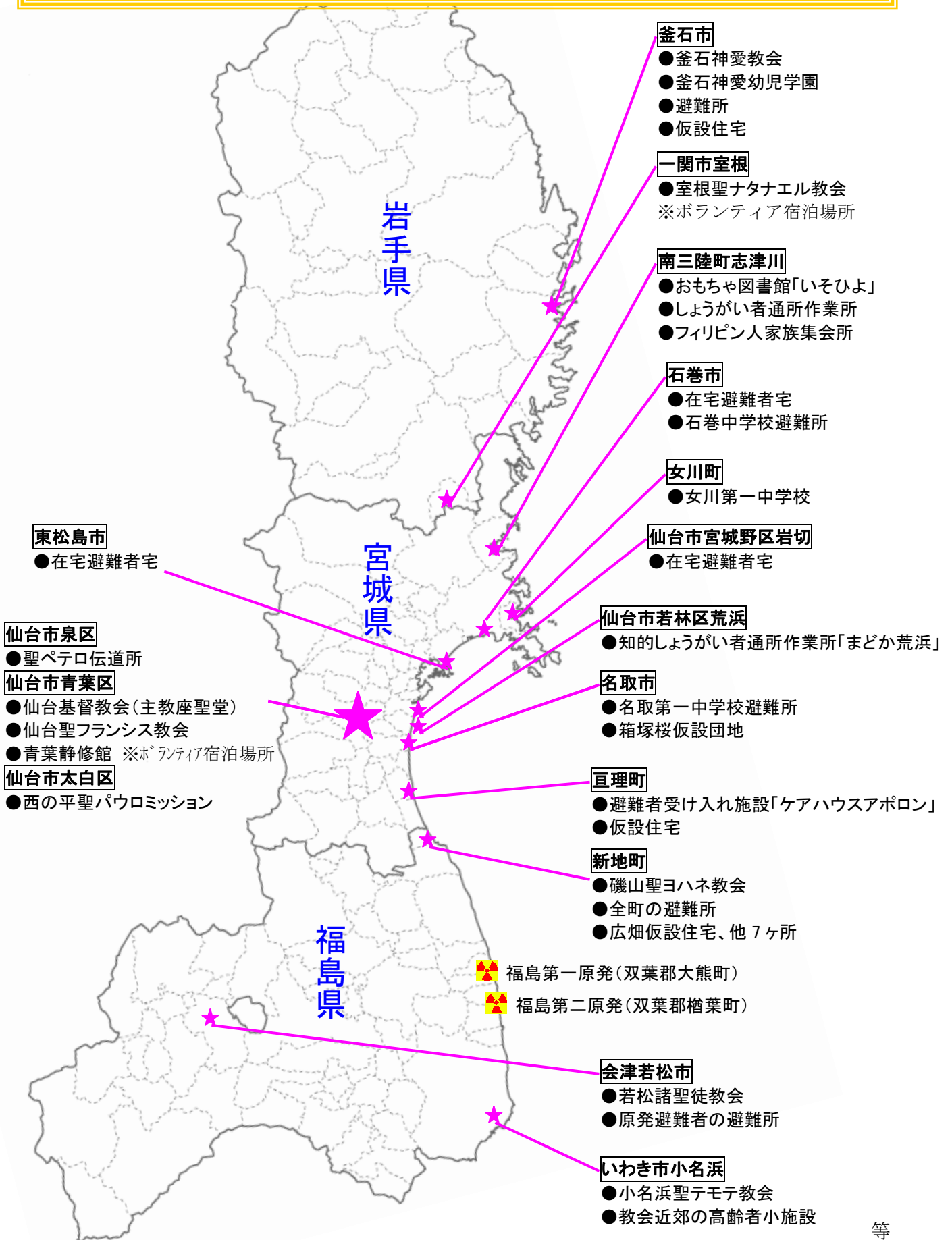
3月11日の東日本大震災発生直後から、日本聖公会の各教区、聖職・信徒の方々が熱い祈りをもって被災地・被災教区を覚え、支援活動および教会の礼拝の応援をして下さいましたことを、まず心から感謝申し上げます。大地震と想像を絶する津波、そして原発と放射能の深刻な問題が加わって、今回の大震災は500キロという広く細長い地域にわたっての激甚な災害であるのはもちろんのこと、様々な意味で複雑、多層的な災害であると感じます。巨大な災害であるのですが、しかしそれに対する支援活動や配慮というものは、本当に「奥の細道」の細い道をかき分けながら、時間をかけて丁寧に人と出会い、顔の見える関係を作っていくって始めて出来事の本当の大変さが見えてくる、そのようなものだと感じます。この大震災の規模の大きさ、状況の困難さに鑑み、早い時点から管区レベルの協議が行われ、日本聖公会としての本格的な取り組みとして「いっしょに歩こう！プロジェクト」と命名され、準備室的には5月6日スタート、5月下旬にはそれまでの仙台基督教会（主教座聖堂）内から近隣のビル2室に拠点を移し、活動を本格化させてきました。管区常議員会によって立てられた運営委員会（代表・植松誠首座主教）を中心に、管区宣教主事の中村淳司祭（プロジェクト事務局長）と、東北教区の支援活動の現場を担ってきた長谷川清純司祭（支援活動担当）が、多くの方のサポートのもと、中心的な役割を担ってきました。

これまでの活動と今後の計画について短い紙面でお伝えすることは出来ませんが、今後毎月のニュースレター、ホームページの開設によって可能な限り情報開示の努力をして参ります。ボランティアの宿泊を可能にするための施設の整備等も進んでいます。しかしすべては被災の状況の中で行われてきたこと（建築業者も電話回線の設定も想像以上に時間がかかる）を

ご理解いただきたいと思います。＜非常な広さと困難の中で＞＜顔の見える関係を丁寧に＞作りたくと願ってきましたし、これからもそのようにと願っています。広い被災地にただ飛び込んで行ったのではなく、東北教区の教会、信徒の被災者の方々を具体的に支えようとする中で、地域の人とも信頼感が築かれ、関係が徐々に広がっていきました。仙台の聖ペテロ伝道所で25年以上行われてきた「おもちゃ図書館」（しょうがいを持たれた子どもと親の会）の繋がりから南三陸町・志津川で被災したおもちゃ図書館、福祉作業所、また仙台市荒浜のやはり被災した福祉作業所との関わりが生まれ、大切な働きとなろうとしています。その地でのフィリピン人女性たちへの支援活動も始まろうとしています。信徒の犠牲者も出した相馬郡新地では町全体の復興計画に貢献したいと関係を深めています。活動は各教区の積極的な参加を得て、釜石から小名浜・日立まで含まれています。まさに「裸足の宣教」（日本聖公会宣教150周年・カンタベリー大主教説教）であって、一歩ずつ、しかし確かに歩みを始めている「いっしょに歩こう！プロジェクト」です。どうぞお祈りと応援をよろしく願います。



支援地域とその拠点教会・施設と支援活動内容 (7月8日現在)



等

「いっしょに歩こう！プロジェクト」支援活動内容

副本部長（プログラムディレクター） 司祭 長谷川清純

いっしょに歩こう！プロジェクトのミッションステートメントで表明された方針はすべて、私たちがこれまでも、今も、そしてこれからも長く抱いていく心と思いと行いを律する精神です。7月8日現在、各地で繰り広げられているこれまで及び現在進行中の支援活動内容は、以下の通りです。支援地域は地図上に表しました。（左ページ）

釜石ベース(岩手県)

当初から関わった遠隔地小漁港集落（大石、本郷、花露辺）を中心とした支援物資配布、神愛幼児学園での礼拝・保育補助、神愛教会での礼拝奉仕と追悼の夕べ開催、近隣に設置された約400戸の仮設住宅への訪問・傾聴・支援物資購入配布・住居環境整備などの奉仕が行われている。

北海道教区から司祭（1ヶ月交代）と信徒ボランティアさん（随時交代）が支援活動に従事している。

仙台圏ベース(宮城県)担当:仙台オフィス

南三陸町志津川

緊急支援物資搬送、志津川おもちゃ図書館「いそひよ」被災者支援物資配布・「いそひよ」再開支援、しょうがい者通所作業所再開支援、長期炊き出し団体への仮設トイレ提供。フィリピン人妻日本語学習支援・子ども預かり保育・夏休み子ども教室開催、ヤマザキ製パン配布。

石巻市

緊急支援物資搬送、在宅避難者への個別訪問・個別支援物資配布ならびに購入配布・傾聴、フリーマーケット方式開催、避難所への訪問・支援物資配布・傾聴。ヤマザキ製パン配布。

女川町

女川第1中学校および第2中学校生徒たちへの半袖ワイシャツ・ブラウス(各2枚)購入配布。

仙台市宮城野区岩切

在宅避難者への個別訪問・個別支援物資配布・傾聴、プレハブハウス6棟設置、土嚢積み。

仙台市若林区荒浜

知的しょうがい者通所作業所「まどか荒浜」の製品購入および販売による支援。

名取市

緊急支援物資搬送、避難所への訪問・支援物資配布・傾聴、仮設への別訪問・個別支援物資配布ならびに購入配布・傾聴、棚づくり、仮設住宅団地入り口標識設置、団地内掲示板設置、団地内進入禁止横断幕設置、お買い物送迎車運転、夏祭りブース参加、ヤマザキ製パン配布。

亘理町

緊急支援物資搬送、避難者受け入れ施設ケアハウスアポロンへの支援物資配布、仮設住宅への個別訪問・個別支援物資配布・傾聴。

新地町ベース(福島県)

緊急支援物資搬送、避難所への訪問・支援物資配布および購入配布、豚肉・卵提供（アジア学院より）、仮設住宅への支援物資配布ならびに購入配布、食器類各100個・ちゃぶ台・掃除機各500台配布、仮設住宅への個別訪問・傾聴、ヤマザキ製パン配布。

小名浜ベース(福島県)

震災後約1ヶ月教会近郊の高齢者小施設に緊急支援物資搬送・配布・食材提供、その後約3ヶ月は近隣住民への支援物資搬送・配布・傾聴などを、阪神三教区ならびに北関東教区が日立ボランティアセンターを立ち上げ活動した。今後は小名浜にベースを移す予定。

会津若松(福島県)

大熊町からの原発避難者への支援物資搬送・配布。

「いっしょに歩こう！プロジェクト」を支える仕組み

副本部長（事務局長） 司祭中村 淳

「いっしょに歩こう！プロジェクト」はようやく皆さんにその活動内容をお伝えすることができるようになりました。大変時間がかかってしまったことをお詫びいたします。

ここでは活動を支えていく仕組みについてご報告します。すべての活動はプログラムディレクター、各地域責任者のもとでそれぞれのベースのスタッフが担います。スタッフだけではプログラムを行うことはできません。ボランティアの参加が必要です。これからボランティアさんを募集していくことになります。わたしたち事務局はそのボランティアさんの働きをサポートすることも仕事の内容となります。

基本的にボランティアさんに宿泊いただくのは仙台においては「青葉静修館」、気仙沼・志津川方面をカバーするのが「室根ナタナエル教会」、釜石ベースではベース拠点、小名浜ベースでは今後詰めていきます。

「青葉静修館」は第一次改修工事が進行中です。7月11日現在、トイレの半分が使用可能となりました。今後、7月中に残りのトイレ改修、8月初旬にシャワー設備の増設が完了予定です。同時に耐震診断を7月中に行う予定になっています。限定的に使用可能となりましたが、現在は学校等の団体利用についてご相談を受け付けています。「室根ナタナエル教会」は4月の余震によって大きな被害を受けましたが、改修工事がすでに終了しています。「室根」の収容人数は約10名、気仙沼まで車で20分、志津川まで車で50分のところにあります。と

りあえず、この二つの宿泊については仙台オフィスのみでご相談に応じています。電話番号は022-265-5221、担当は総務担当松村、事務局長中村です。仙台オフィスの受付時間は月～金・10:00～17:00、祝日は休みます。ただし、オフィスもスタッフ不足でその場での答えが難しいことが多いと思います。事情をご推察の上、ご協力をお願いします。仙台オフィスに置かれた事務局では体制を整えつつありますが、行わなければならないこととスタッフのバランスがまだまだで、未だに混乱状態です。今しばらくお待ちください。

プロジェクトからの様々なご報告、案内についてはこのNews Letterでお伝えしていきます。できる限り、月刊で発行していきたいと思っています。また、HPについてもまもなく開設できます。もうしばらく、お待ちください。

最後に、このプロジェクトは仙台に置かれたオフィスが行うだけのものではありません。皆さんの教会、教区、地域でこの被災による困難を負われた方々がいらっしゃると思います。また、それぞれの方々が行ってくださる支援活動もあると思います。わたしたちのミッションステートメントに賛同してくださる方々が行う活動をすべて「いっしょに歩こう！プロジェクト」と呼ぶことができたらしばらしい、と思っています。そのためにロゴマークを作りました。使いやすいように5色そろえました。詳細はこれからお伝えしますが、このロゴマークのもとでいっしょに歩いていきましょう！



「いっしょに歩こう！プロジェクト」事務局

【open】月～金 10:00～17:00 【close】土・日・祝

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町3-4-5 クライスビル2F

TEL&FAX: 022-265-5221 E-mail: walk@nssk.org

※ただいま、プロジェクトオフィスHPの作成中です！次号ではURLをお知らせできる予定です♪